

この大地は
祖先から譲り受けたものではなく
子孫から借り受けているものである

(メキシコ留学時代に学んだ
ネイティブアメリカンの伝統的観察)

90億人
(2050年予測)

60億人
(2000年)

25億人
(1950年)

15億人
(1900年)

10億人
(1800年)

1500年には5億人だった世界の
人口も、2000年には60億人を
超え、2050年には90億人に達
すると言われています。技術的な
進歩から生まれた「豊かさ」に目
を奪われがちですが、21世紀は
「豊かさ」の再定義が必要だと感じ
ます。

1500年(5億人) 世界の人口増加 2000年

美しい地球を
子どもたちに

ユネスコ世界寺子屋運動
ベトナムの子ども達と。

うつのみや高明



オーストラリアで買った地図は
わたしが知っている地図と逆さまだった！

物事はあらゆる角度から見なければいけないことを若かりし頃、世界に行って痛感いたしました。年齢・性別・国籍、さまざまな価値観があるなかで、偏った考え方では本当の解決策を見つけることは困難です。前から、後ろから、横から、時にはひっくり返して、多様な物事の見方・考え方のできる人づくりこそ、これから成田・日本・地球づくりに必要なことではないでしょうか。

(タイトル:成田市が特区指定された時の先輩の一言より)

「うつのみや君の提言が当たったね！」～国家戦略特区成田と成田空港について～

2009年の新型インフルエンザ騒動から色々とご指導をいただいている東京大学の上昌広教授との活動を通じて、「成田を21世紀の出島に（医療、農業、教育、保税特区）」の運動を続けています。成田市が全国6カ所の国家戦略特区のひとつに指定され、成田市としては「国際医療学園都市構想」と「エアポート都市構想」を提案しています。「国際医療学園都市構想」は私立の国際医療福祉大学と共同提案で、大学と付属病院を新設する医学部の創設を目指しています。共同提案ですのでこの方向が優先事項ではありますが、私としては、財政面での検討等において、既存病院を活用して大学のみ建設する医学部創設を模索することも提案しています。一方、「エアポート都市構想」は、空港圏全体の計画づくりのためにも、成田空港のより一層の拡充を行わなければなりません。市民の方々の心配として、将来羽田にほどんどいってしまうのではとの声もお聞きしますが、2014年冬ダイヤの成田空港の現況は、発着回数4,244回／週、就航都市数118都市、乗り入れ航空会社88社といずれも開港以来の最高となっており、今

後とも日本最大の国際空港は成田です。しかし、東アジアの空港間競争を考える時、中期計画案の第3滑走路整備とともに今の成田空港の政策として◎2,500mのB滑走路の3,500m化 ◎成田空港と東京駅間36分の鉄道の整備を進めなければなりません。3,500m化は、国の首都圏空港機能強化技術検討小委員会でも提案されており、工事費の試算は200～400億円で国に頼らず行えることを考える時、成田市と成田空港会社の共同事業として実現を目指すべきです。また、鉄道に関しては、成田・押上・東京・泉岳寺・羽田の構想で4,000億円等の試算がでていますが、東京、羽田間はJR等からも案がでています。
そこで私は、押上、東京間の工事費のうち、地方自治体分担について、千葉県、成田市、成田空港会社で応分の負担を東京都に申し出をすることで、成田、東京36分への第一歩を踏み出すべきと考えます。
地方創生の一翼を担うのは我々成田です。

さあ！成田の明るい
未来のために
踏み出しましょう！



「阿波おどり成田連での様子」

助かった命を守っていくための、地域包括ケア病棟とは？

塊の世代が 75 才以上となる平成 37 年（2025 年）に向けて、国全体の政策が「施設から在宅へ」の流れ中で、「地域包括ケアシステム」の構築が前面に出されています。医療の面でも急性期、回復期、在宅の中で、診療所を中心とした外来・在宅医療を推し進めようとしています。しかし、病院から即在宅は誰しも不安ですので、これから地域医療においては、回復期がより重要となってきます。船橋市では、公設民営の 200 床の船橋市立リハビリテーション

病院を設置していますが、私は成田市では既存の病院の活用での回復期の充実を 12 月議会で提案いたしました。

◎注目される地域包括ケア病棟

平成 26 年度に新設された「地域包括ケア病棟」の役割として、①急性期病床からの患者の受け入れ、②在宅等に居る患者の緊急時の受け入れ、③在宅への復帰支援の 3 つの機能が挙げられています。

成田市には、急性期としては成田赤十字病院、

日本医科大学千葉北総病院等がありますが、残念ながら回復期の施設が弱いところです。「川上」である急性期から「河口」である在宅へのスムーズな流れの為には回復期の地域包括ケア病棟は早急に整備する必要があり、成田市が主体的に設置に向けて動く必要があります。



手術後などの回復期は
ケア病棟があなたを守ります！

「議員自らが身を切る改革を」

否決された「議員定数 30 名を 28 名に」の発議案について

3つの指摘事項

- 調査対象の検証の結果、議員定数条例の改正案の発議に至る経過として、以下の点を指摘することができるものと思料する。
- (A) 成田市における議員定数につき、適正な議員定数（具体的な数）については議会改革特別委員会では議論の対象としないこととされていたこと
 - (B) 基本条例の制定後でなければ、議員定数の具体的な数につき議論を開始しない（又は、定数の具体数についての議論は基本条例制定後とする）との取り決め乃至申し合わせが存在するかにつき、本委員会の委員長及び委員の発言によれば、そのような取り決め乃至申し合わせが形成されたとは認められないこと
 - (C) 議員定数条例の改正案（議員定数の具体的な数）につき、いかなる方法で（いかなる組織・機関で）改正案を策定するのかについては、本委員会における委員間において意見の一致をみていないこと

上記の検証結果は、平成 25 年 8 月 28 日付の「議会改革に関する答申」とその後の市議会定例会（4 回）、議会改革特別委員会（8 回）の会議録を、弁護士事務所に調査してもらった結果です。

◎我々の今任期中に、議員定数の数のあり方を定めよう !!

私は、私の議長時代に地方自治法の議員定数については上限を人口に応じて定めた規定が撤廃されたことにより、私たちの今任期（平成 23 年 4 月～平成 27 年 4 月）中に、成田市議会の議員定数のあり方について定めるべきであると考えました。

そこで、議会改革特別委員会のメンバーのひとりである私としては本年 4 月の委員会で、検証（A）は承知しているが、来年 4 月の選挙まで後 1 年であるので、別途に具体的な数について議論しようとの提案をさせていただき、他の委員からも同趣旨の意見も出されましたが、意見の一一致をみるまでにいきませんでした。ここで他会派の方々の会報誌に

よりますと「議員定数と議員報酬については、現在策定中の議会基本条例制定後に改めて全議員で協議することとして、昨年 9 月の会派代表者会議で取り決めがあり、全員協議会でも確認されました」と主張されていますが、それであれば本年 4 月の私の提案に対して「その件については、昨年 9 月に取り決めがある。」との答弁があるはずですが、全委員誰一人としてそのような指摘はなく、それどころか私と同趣旨の意見も出されました。（市議会定例会、議会改革特別委員会の会議録の検討結果によれば、定数の具体数についての議論は基本条例制定後とする旨の取り決め乃至申し合わせ等が形成されたとは認められないことは、検証結果（B）のとおりです。）

◎なぜ 9 月議会に発議案を提出したのか !!

検証結果（A）、（B）を受けて検証結果（C）で指摘されているとおりであり、今任期中での定数の数について定めようとする議員間の勉強会を重ね議員間の議論を行うためにも今

任期半年となる 9 月議会での提出となりました。私は、充実した議会機能を損なうような大幅な議員削減を唱えるものではありませんが、国政、県政、市政に対する市民の方々の声は、まずは「議員自らが身を切る態度を示せ」というのが多くの方々の意見であると受け止めております。来年 4 月の市議会議員選挙までの日程を考えると、条例制定後に議員定数をと考えられている議員の方々は、今任期中には議員の数については、やりたくてもやれないかもしれません。このような状況を考える時、今任期中の結論を目指している者として議会改革特別委員会審議と発議案提出は何ら矛盾するものではなく検証結果（A）、（B）、（C）を踏まえていただくなれば、今回の我々の行動に対してご理解いただけるものと信じております。なお、私自身議会改革特別委員会のメンバーとして、議会基本条例制定に積極的に参画させていただき、12 月 11 日に本条例は全議員の賛成で可決されました。

本会員

現在の活動

- 成田市議会議員（7 期）○ 市議会空港対策特別委員長○ 千葉県地方議員連絡協議会副会長○ 自治体学会議員研究ネットワーク幹事○ 成田ユネスコ協会副会長○ 成田ユータウン自治会連合会副会長○ 成田ユータウンスポーツ連盟事務局長○ 成田法人会成田ユータウン支部支部長○ 成田コスモボリタンロータリークラブ会員○ 花と緑の農芸財團理事○ 日墨交流会副会長○ 構想日

青年会議所

豊かな地域づくりを目指して積極的に活動している青年会議所での活動は、異業種交流の重要性を体験させてくれました。（昭和 56 年・千葉ブロック会員大会委員長）

政府交換留学

新東京国際空港公団へ入社。（昭和 44 年～62 年）約 8 年間の用地部の大半は妨害鉄塔の用地交渉に没頭しました。空港のために土地を手放さざるをえなかつた地主さんの心情は、今でも私の政治に取り組む原点です。また、空港の主体となることを目指して、労働組合を結成し、3 期委員長を務めました。

【議会歴】
成田市議会議長（第 30 代・第 36 代）
千葉県市議会議長会会長
関東市議会議長会副会長



うつのみや高明
たか
昭和 21 年 12 月生。
愛媛県西予市明浜町出身
家族妻、子供 2 人

うつのみや高明 「新・地方時代へ。成田から発信していきましょう！」